



協定書に調印する関係者
＝七尾市の恵寿総合病院

恵寿病院 避難施設に 七尾4町会と協定

七尾市の社会医療法人財団董
仙会と社会福祉法人徳充会であ
つくる「けいじゅヘルスケアシ
テム」は22日、御祓地域づくり
協議会や昭和町、寿町、桜町、
富岡町の各町会と恵寿総合病院
を災害発生時の避難所として利
用する協定を結んだ。

同病院で神野正博理事長や深
浦利雄協議会長、各町会の代表
者が協定書に調印した。同協議
会と富岡町会が高齢者複合施設
「ローレルハイツ恵寿」も避難
所に利用する協定を結んだ。

恵寿総合病院 一時避難所に 災害時 御祓地域協や4町と協定

七尾市富岡町の社会医療法人財団董仙
会と地元四町、御祓地域づくり協議会
は二十二日、自然災害発生時の一時避難所
に、法人が運営する恵寿総合病院を使う
協定書を締結した。コロナ禍で避難所の
受け入れ人数が制限される中、分散避難
を可能にする狙い。関係者が同日、調印
式に臨んだ。

市によると、御祓地区の
指定避難所はJR七尾駅の
北側に限ると同地区「コミュ
ニティセンター」のみ。遠く
の住民は徒歩での避難が困
難なほか、感染対策で収容
人数も限られるとして、協
議会は一時避難所の確保が
課題と受け止めていた。

協議会は昨年三月、各町
会長に一時避難所に使いた
い施設のアシケートを実
施、昭和、寿、桜、富岡の
四町が同病院を希望した。
結果を踏まえ、協議会と四
町会長が董仙会に協定締結
を打診し実現した。
調印式で協議会の深浦利
雄会長は「コミセンだけで



病室を協定する関係者ら
一時避難所に恵寿総合病
院を使用する協定書は七
尾市と恵寿総合病院、
富岡町の関係者らで

は人数が人らず、どうす
ればいいのか困っていた。また
まだ課題はあるが、各町会
で解決していきたい」とあ
いさつ。董仙会の神野正博
理事長は、頻発する自然災
害や高齢化などの課題に
「総掛かりで地域の安全
安心に努めないといけな
い」と語った。立会人の茶
谷義隆市長も祝辞を述べ
た。

今後、避難所の開設や運
営などに携わる連絡責任者
を選任。年一回ほど連絡会
を開き避難に手助けが必要
な住民などを情報共有する
ほか、共同の避難訓練を実
施する。協議会と富岡町は
病院に隣接する高齢者複合
施設「ローレルハイツ恵
寿」とも協定を交わした。